

和良の郷だより

風鈴号
和良おこし
協議会発行
和良おこし
協議会

七夕相談会開催

和良の郷の未来を短冊に込めて

7月16日(木)「郡市民協働センター・七夕相談会」が行われました。市民協働センターのサブセンターでもある「わらおこし」が会場となり、郡上市協働センター長の上村さんと大中さんが相談員を務めました。



相談者からじっくりと話を聞く相談員

今回の相談会開催の目的は団体や自治会などの市民活動においての困りごと、助成金や補助金の利用について、他団体や行政との協働の進め方、講演会の開催、人材育成などを気軽に相談できる場を地域のなかにつくることです。

相談会が始まると、早速、町内の集落で農業を主に活動をされている団

体からの相談がありました。

団体が管理する畑で、地元住民が交流する機会を設けたり、作物や獣害対策に関しての勉強会も行いたいとのことでした。

また、その畑の周りの環境を住民憩いの場にする計画などのお話もありました。相談員の市民協働センターの上村英二さんと大中瞳さんが相談者のお話を聞きながら、アドバイスをされていました。

その後も様々な相談者が来られ、熱心に相談されている姿がありました。

さて、今回の相談会の名前に付いている七夕ですが、もともとは中国の行事で、日本に昔からあった「棚機津女(たなばたつめ)」の伝説と合わさったようです。そして、笹に短冊を飾るのは日本独

自のようです。

会場には「未来のふるさと和良の郷はどうなっ
てほしいですか?」というテーマについて書かれた短冊が飾られています。そのなかの一つに「子どもたちがいつでも帰ってこられるふるさとが残っています様に」と書かれており、相談会終了後に相談員の上村さんと大中さんと様々な視点からのふるさとについての語らいが弾みました。

例えば定年してからや、若者がUターンした場合、「ふるさと」はどう映るのでしょうか?親が子を想うの「ふるさと」はどう映るのでしょうか?それぞれが思うふるさとの原風景は、子どもの頃過ごした時間や思い出の場所かもわかりません。

いつでも誰もが思う原風景がそこにある「ふるさと和良の郷」を繋いでいきたいですね。



会場に飾られた短冊



和良鮎いいね!

今年の和良川での鮎掛けは、感染症の影響から特別解禁が無くなってしまったり、一般解禁の日程を延期したり、解禁当日の強い雨による増水などによって困難を迎えました。

ところが解禁日翌日からは快晴が続き、平日にもかかわらず和良川は解禁日を思わせるほど釣り人がところ狭しと並びました。にぎやかな和良が戻ってきたのが嬉しかったです。

和良川も和良鮎も和良の自然もいつもと変わらない様子を見せております。みなさんには和良川への鮎釣りをはじめ、和良を満喫しに訪れていただきたい

と思います。

また、和良鮎を守る会では順調を通り超えて、連日の様に鮎の集荷も多くとても大盛況の様子です。各地のお店より注文もたくさんいただいております、ありがたい限りです。

和良鮎を守る会ではサイトよりFAX注文用紙も用意して、個人からのご注文も承っておりますので、どうぞご利用ください。

今年も「和良鮎」をよろしく願います。



和良鮎を守る会ホームページ



オンラインで同窓会をのびませんか?

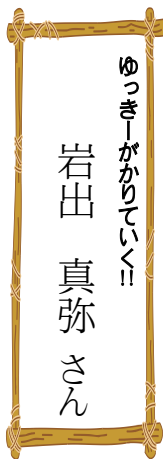
お盆の時期にはいつもふるさとに里帰りをして同窓会を開催している方も多いと思います。ところが今年

感じてもらえる方も多いのではないのでしょうか?高齢の親がいるとか、いろいろな気使いからふるさとに帰省するのも遠慮をされている方もあると思います。

そこで「Zoom」を使っての「オンライン同窓会」はいかがでしょう?和良おこし協議会がホストで開始しますので、無料で、時間制限なしで楽しんでいただけます。簡単な使い方マニュアルも用意できます。た

だし、対象は和良出身の方々限定で、同窓会冒頭に少しお時間をいただいで和良の現状の話をさせていただきます。簡単なアンケートにご協力ください。

詳細は和良おこし・加藤まで。(097-577-227)



岩出 真弥さん

ゆっきーがかりていく!!

和良に住んでいる人と自然体で話しながら、和良らしさを探っていく新コーナー、「ゆっきーがかりていく!!」。今回は和良おこし協議会の副会長、岩出真弥さんです。「わらおこし」でコーヒートを飲みながら、子ども時代や和良への想いをじっくり伺いました。

「かなりのやんちゃだったと聞きましたが、和良ではどのような子ども時代を過ごしましたか？」

川で泳いだりして遊んでたな。子どもの頃はゲートボール場があって、そこでゲートボールをやっていた時に草野球をしたりしていた。その頃は子ども会が十二、三人ぐらいいて、ワイワイと遊び回っていた。トマトやキュウリをもらったたり、田平でイチゴを作っている人がいて、もらったりしていた。地域の人がよく面倒をみてくれて、鮎の網をやり始めたのも近所のおじさんのおかげ。でも解禁前に鮎とったり、やんちゃだったな。今思うと色んな人に迷惑をかけていた…

「中学を卒業後こんな高校時代でしたか？」

中学の時に実家の農家を継ごうと思った。やりたいと思った。やっぱり和良の田んぼ、畑で楽しく遊んだ思い出が残っていたんだよね。それで勉強が大嫌い、書くことが苦手だったけど、高山の高校で農業を学んだ。

「いつ和良に戻ってきましたか？」

高校を卒業して2年間農機具屋で働いて、それから和良に戻ってきて、実家で働き始めた。最初の頃は親父とぶつかったこともあった。やっぱり親父はその頃はまだ第一線でバリバリ働

ていたから、自分はこうやりたい、と言った時にぶつかったな。ただ、地域のために働く、という根本的な想いは親父も自分も同じ。親父は突き進むタイプだけど、自分はリスクを考えてちょっとセーブするタイプ。まわりの親子を見ると、張り合っているほど伸びる。いろいろな考えを組み合わせていけるからかな。

「その後世代交代で、社長になったのですか。」

20歳の時に和良に戻ってきて、28歳の時に社長になった。急に代わると言われたからどうしていいかわからない。今も悩んでるよ。米の消費が減っているなか、国の国策通りに米以外の作物に転換していくのか?この地域に合う作物は何か?獣害の問題をどうするか?など。

「そんななか、これからのようなことをしていかうと考えていますか?」

二十歳のときに牛の飼料(稲わらサイレージ)を作り始めた。最初はいろいろ言われたけど、2年前に品質が認められて、賞を取ることができた。畜産農家の方が牛の糞の処理に困っていると聞いて、それを田のたい肥にした。そしてできた稲藁で牛の飼料を作る。これは生産者同士の助け合いから生まれた。今、青年農業士会に入っている。花、酪農、畜産、米、トマト、苺を作る農家などのつながりを作っていく、地元で採れたものを地元で消費するようにしていきたい。あとは地域の人を巻き込んで、一緒に地域を守っていききたい。

「和良おこし協議会ではどんなことをやっていきたいですか?」

移住者で畑をやったことがないような人が畑をできるような仕組みをやりたい。地元の人との畑の隣に作って、地元の人に畑の作り方を教えてもらったり、と関わってもらえたらいい。

「子ども時代と比べて今の和良はどう変わってきましたか?」

昔から人は入れ替わっていないから、あまり変わっていない。5年もするとガラッと変わるだろうけど、今でも回覧板を持っていくと、「お茶でも飲んでいけ」と言ってもらったり、気にかけてくれていると感じる。人の温かみを感じるところが昔も今も和良の一番好きなのところ。



地域を守っていききたいと語る岩出さん

イベント掲示板

七井やす音館 Presents

富安秀行&ほりおみわ&昭喜名俊典
真夏の夜の音楽会
Wara midsummer night's Dream!

2020.8.1(Sat)19:30Start
わらおこし: 岐阜県郡上市和良町下洞554
MusicCharge: 投げ銭 ※演奏にお志を願います!

【富安秀行プロフィール】
ギターをかかえ日本全国を巡るシンガー!名古屋を中心に全国で、仲間ミュージシャン達の音楽活動をプロデュースしたり、音楽イベントを企画したり、楽しいライブをしています!
【ほりおみわプロフィール】
兵庫県出身。20代中頃から音楽活動を開始。邦・洋楽Pop、Jazz、classical、民族音楽など様々なジャンル、形態を自身の現場で学び独自の表現力を身につける。特に民族音楽の響きに惹かれ、JazzやKeltic、花歌の歌を日本語歌詞に表出する事を始める。
【昭喜名俊典プロフィール】
愛知県立南大宮大学卒業後、ノーステキサス大学にてジャズを先行する。2004年南アフリカにて行われた地獄がダンスカンパニーでの演奏を機に帰国。日本では数少ない本格ジャズニューアムニアム演奏者です。

わらおこし: 0575-77-2277

ようこそ清流の里へ
「はざこ探検隊」

「はざこ」の秘密を学んで和良川を観察しよう!

8月22日(土曜日)
19:30 21:00

はざこ探検隊員募集中!
※本イベントは本協会の協賛で開催です。関係先は「和良川を守る会」までお問い合わせください。

探検隊員募集枠:
9:30/14:30 受付開始
10:00/14:30 探検隊員(岐阜県立南大宮大学、花岡南高等学校)との説明
10:30/15:00 探検隊員との説明
11:30/16:00 探検開始
※雨天に備え、雨天時は中止となります。

料費: 2,000円
定員: 20名程度

会場: 和良川下洞554
和良川下洞554
電話: 0575-77-2277
Mail: info@waraokoshi.com

イベントの詳細については
和良おこし協議会までご連絡ください。

電話 0575-77-2277

ろうけつ染め
体験教室 in 和良町

8月4日(火)
9:30~17:00

名額 10名(定員)
3,000円(税込)

和良町で、協議会 TEL.0575-77-2277

